

溝上 慎一の教育論(動画チャンネル) No20(心理学)

#2 時間的展望研究の魅力を語る —都築学先生(中央大学名誉教授)にインタビュー—

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

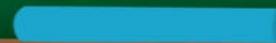
<http://smizok.net/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問

【プロフィール】1970年幸生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長(2020-2021年)。京都大学博士(教育学)。

*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画は溝上が個人的に作成・提供するものです



(ご紹介)



都築 学

つづき まなぶ

中央大学名誉教授

東京教育大学卒、筑波大学大学院心理学研究科、
単位取得退学
大垣女子短期大学助教授を経て、中央大学文学部
助教授、教授、文学部長（2013-2017）。
2022年度より名誉教授

『大学生の時間的展望』（中央大学出版部、
1999年）、『希望の心理学』（ミネルヴァ書房、
2004年）、『自立って何だろうー社会と子ども
たち』（新日本出版社、2021年）ほか多数



それではご覧ください

時間的展望研究の魅力を語る

都筑 学

(Manabu Tsuzuki)

中央大学名誉教授

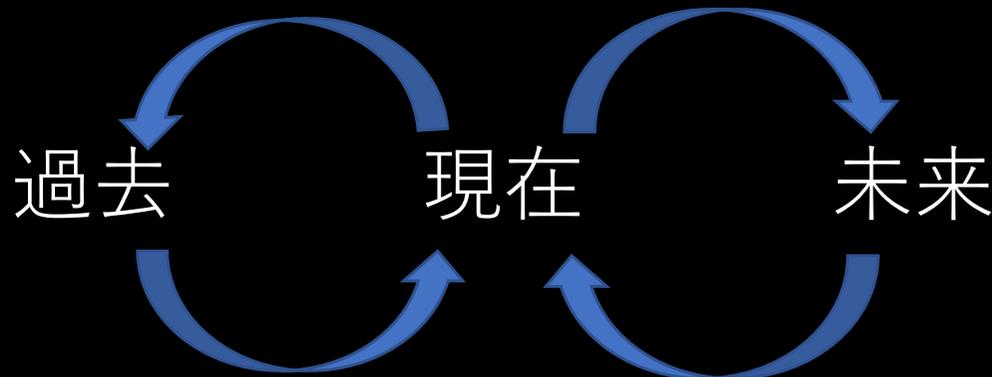
(1) 私たちの生きている時間

- 物理的な時間：時計で測ることのできる時間

過去 → 現在 → 未来



- 心理的な時間：私たちの心の中にある時間



過去の出来事を
思い出す

未来の出来事を
想像する

(2) 心理的時間を研究する

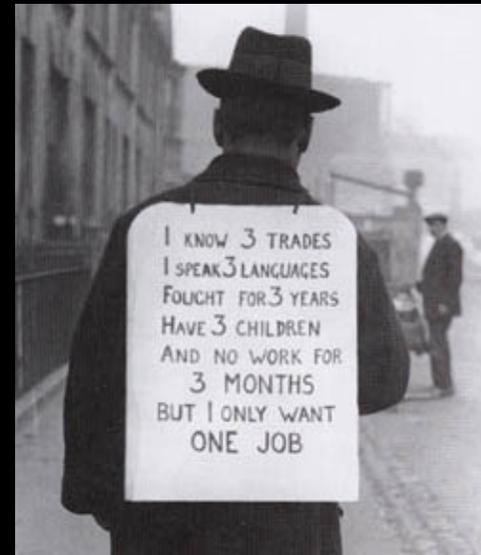
- 時間的展望 (time perspective)
 - ある一定の時点における個人の心理学的未来および心理学的過去についての見解の総体(Lewin, 1979)
- 時間的展望の研究の流れ
 - 1950～80年
 - 認知：extension (長さ) どれぐらい先のことまで思い浮かべているか
 - 感情：自分の未来が明るいか、暗いか
 - 1980年以降
 - 社会心理学のgoal研究が出現



(3) 時間的展望研究の源流

- 世界大恐慌に至る社会的背景
 - 第一次世界大戦（1914年7月28日～1918年11月11日）
 - スペインかぜ（1918～1919年）
 - 狂騒の20年代（Roaring Twenties）：繁栄のアメリカ（1920年代）
 - ニューヨーク証券取引所での株価大暴落（1929年10月24日：暗黒の木曜日）
- 世界大恐慌が与えた影響
 - 未来への希望を失った青年（Israeli, 1930/31）
 - 大量の失業者

私は3つの商売を知っている。
3つの言葉が話せる。
3年間戦場にいた。
3人の子どもを抱え、
3ヶ月失業している。
1つでいいから仕事がほしい。

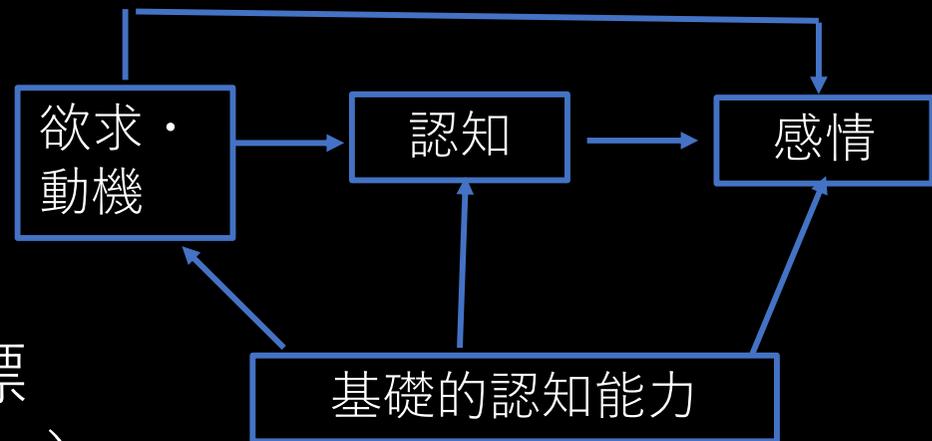


(4)私の時間的展望研究

- 時間的展望の構造 (都筑, 1999)

- 認知的側面
- 感情的側面
- 欲求・動機的側面
- 基礎的認知能力

- 自分にとって重要な目標
(成し遂げたいという願い)
- 計画性や時間管理の能力
(目標達成行動を下支える力)



(5)時間的展望研究の可能性と 限界

- 時間的展望研究が仮定する人間像
 - 合理的に行動する人間
 - 目標設定→行動→結果のフィードバック→目標修正→行動→結果のフィードバック→・・・
 - 未来に対して積極的な希望を持つ人間
- 希望とは何か
 - 「希」にしか叶わない「望み」
 - たとえ叶わなくとも、未来に向かう姿勢・態度。淡い期待、微かな期待、一縷の望み。



文献

- Frankl, V. 池田香代子 (訳) (2002) 夜と霧 新版
みすず書房
- Israeli, N. (1930/1931) Some aspects of the social psychology of futurism. *Journal of Abnormal & Social Psychology*, **25**, 121—132.
- Lewin, K. 猪股佐登留 (訳) (1979) 社会科学における場の理論 誠信書房
- 都筑学 (1999) 大学生の時間的展望 —構造モデルの心理学的検討— 中央大学出版部